

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 1月 15日

公表: 令和 5年 2月 1日

事業所名 _____

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		新型コロナウイルス感染症拡大状況により個々の安全なスペースを確保している。	
	2	○			
	3	○		生活空間は利用者が目で見えて理解できる環境を作っている。バリアフリー化は行っている。毎月、破損の有無の確認を行っている。	
	4	○		子どもたちが利用したものの消毒・室内の空気の入替えを行っている。	
業務改善	5	○			
	6	○		保護者からの評価は真摯に受け止め、会議で職員に報告し、改善を行っている。	
	7	○			
	8		○		
	9	○		感染対策の為、ズームでの研修を中心に参加している。	今後、ズームでの研修は減少すると思われるため感染対策を行いながらのリアル研修への参加を考えていく。
適切な支援の提供	10	○			
	11	○			
	12	○		児童発達支援ガイドラインを基に、具体的な支援内容を設定している。	
	13	○		毎日のフィードバックで職員全員で確認している。	
	14	○		毎日のフィードバックで職員全員で確認している。	
	15	○		毎日のフィードバックで職員全員で確認している。	
	16	○		子どもの状況をしっかりと把握して、適宜変更している。	
	17	○		グループ療育では、子どもの特性や安全性を考慮して、役割分担を行っている。	
	18	○			スタッフの勤務状況によっては、担当者を通しての振りかえりができない場合もある。記録を必ず残し、子どもの様子や課題をなると、継続することを伝えるようにする。
19	○				

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	見落としがないように定期的な点検を行う。	
----	---------------------------------------	---	----------------------	--

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会后、職員に報告して情報共有、をしたり、新たな課題に対する療育目標の設定を行う。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて連携を図り、支援していく。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	移行支援は行っていないが、連携は図り、様子を伝えあう。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナウイルス感染拡大の為、行っていない。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		希望、必要性に合わせて行っている。	感染防止のため、方法を変更しながら継続できる方法を模索しているところである。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		分かりやすい、丁寧な心がけている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報の発行は行っていないが、日々のフィードバックに予定や情報を発信する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠可能なロッカーに保管している。	子どもがスタッフルームに出入りすることもあるので、パソコン類にはロックをかけることにした。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナウイルス感染症拡大防止のため、行っていない。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	年間計画に組み入れて密にならない方法を考える。	コロナ感染症等、「すぐに伝わる」「いつでも伝わる」方法を考えていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	災害に対しては、利用者の避難のための訓練を実施してきたが、スタッフが実際に検証して問題点や疑問点を出しあった。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約時に確認、また、内服が始まった場合などは伝えてもらうようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	食事の提供は行っていないが、食物アレルギーだけではなく、他のアレルギーについても聞き取り、事故につながらないようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	すぐに共有し、今後の対策を確認する。職員の手に取りれる場所に事例集を置いている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	積極的に参加するようにしている。虐待防止のチェックリストの作成。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。